

令和6年6月7日

卓球部顧問・指導者・関係者の皆様へ

卓球部員のみなさんへ

東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部委員長

東京都立野津田高等学校 平 雅行

第74回 関東高等学校卓球大会のご報告

みなさんこんにちは。東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部委員長、東京都立野津田高等学校の平雅行です。

お陰をもちまして、今年度も関東高等学校卓球大会を無事に開催することができました。今大会は群馬県開催で会場はALSOKぐんまアリーナでした。特に群馬県の役員先生方や協力校生徒の皆様には感謝申し上げます。

この歴史ある関東高等学校卓球大会ですが、4年前は新型コロナウイルスの影響で初めて中止になり、3年前と2年前はコロナ禍での開催でしたので、大会会場への入場人数や応援、選手の声出しなど多くの制限がかかった中での大会。昨年度の地元開催では、競技初日の入場制限など完全に元に戻すことができませんでした。しかし、今年度は初日から応援部員や保護者の観戦もあり、以前のような盛大な大会となりました。

また、東京都の選手も活躍しました。競技初日に行われた男子ダブルスの部では下田蓮・水谷悠真組（実践学園）が昨年度に引き続き優勝、競技初日と2日目に行われた男子学校対抗の部では実践学園高等学校が2連覇を達成して通算10回目の優勝、同じく競技初日と2日目に行われた男子シングルの部では水谷悠真選手（実践学園）が優勝しました。学校対抗の部とシングルの部の決勝戦はいずれも3対2の大激戦でした。そして水谷選手は今大会、すべての種目で優勝し、三冠達成となりました。関東高等学校卓球大会での男子三冠達成は第59回以来15大会ぶり、東京都の選手の三冠達成は第53回大会での久保田隆三選手（実践学園）以来21大会ぶりの快挙でした。おめでとうございます。

この後もまだまだ大会が続きます。さらなる高校生諸君の活躍、健闘をお祈りいたします。



学校対抗の部 優勝 実践学園高等学校



三冠達成の瞬間



三冠達成
水谷 悠真 選手